

「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」開催について（案）

第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会

熊本県内では、戦後60年以降、県内各地に残された戦争遺跡の調査・研究や保存活動を行い、合わせて県内航空遺産をはじめ戦時資料の調査や展示活動等を通して、「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」が進められてきました。

現在活動の団体は熊本・八代・玉名・菊池・荒尾・人吉球磨・合志へとひろがり、当初の各団体情報連絡会議は「戦争遺産フォーラムくまもと」として、戦後70年「平和のバトン展」「熊本空襲講演会」の開催へと結実しました。

その後、平成28年熊本を襲った未曾有の地震災害に直面し、県央を中心に戦争遺跡・遺物被災レスキュー活動や全国の多くの皆様方のご支援をいただき隈庄飛行場の保存等を進め、幅広い連携の大切さを知ることとなりました。

本大会の主催となる「戦争遺跡保存全国ネットワーク」は、全国に広がる戦争遺跡に学び、「戦争の悲惨さと平和の大切さ」を語り継ぎ、戦争遺跡を保存する活動を進めています。毎年夏の大会では「保存運動の現状と課題」「調査の方法と整備技術」「平和博物館と次世代への継承」のテーマの基に、全国各地から多数の方々に参加され、協議を深めてきました。

今回、熊本県内で初めて本シンポジウムの開催にあたり、現在県民運動として展開している「熊本に戦争と平和のミュージアム“ピースくまもと（仮）”」設立にむけ、全国で戦争遺跡を通して地域づくりや戦争遺跡の保存等、平和活動を進めておられる皆様方と一緒に学びながら、設立に向け前進したいと思います。

平成28年度熊本地震から復興しつつある熊本の姿を肌で感じていただき、さらなる「心の支援」を広げることを願い、当地熊本で全国大会を開催したいと考えます。

記

- 1 大会名 第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会
テーマ・キャッチフレーズ「未定」
- 2 開催期日 平成31年8月23日(金曜日)～平成31年8月26日(月曜日)
設営・準備 平成31年8月23日(金曜日)午後
開催日 平成31年8月24日(土曜日)～8月25日(日曜日)
 8月23日(金) 午後は全国運営委員会
 26日(月)は現地見学会の予定。
- 3 使用施設 熊本市国際交流会館 熊本市中央区花畑4-18
URL: <http://www.kumamoto-if.or.jp/>
 期日・会場ともに、全国大会として「優先予約」済み(H29・9/1)
 熊本コンベンション協会とは、各種助成・補助内容で相談中
- 4 参加予定 約200～250名
- 5 主催者名 第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会
戦争遺跡保存全国ネットワーク
- 6 主会場予定内容
(1) 8/24日: 全体会・講演会場 「国際交流会館ホール」6・7階(230人定員)
(2) 8/25日: 分科会 ※すべて洋室仕様に変更
 1分科会: 第1会議室・4階(45人)
 2分科会: 第3会議室・4階(81人)
 3分科会: 大広間A・Bの通し利用・4階(104人) ※閉会集会会場でも利用
 図書交換会: 2会議室・5階(32人) ※10時～3時まで
 事務局控室: 中会議室・5階(14人) ※23日午後より25日まで利用
- 7 全体会記念講演 ※講演者は未定、講演仮テーマ「西南戦争・熊本城」「近代化遺産」では
①案「熊本城と西南戦争(仮)」熊本城顕彰会・肥後考古学会会長 富田紘一氏
②案「熊本の近代化遺産(仮)」熊本大学五高記念館客員教授 磯田桂史氏
- 8 現地見学会 ※旅行者の利用も可
(1) 8/26日(月) ※国際交流会館前もしくは近辺から移乗できるよう都合をつけたい。
(2) 見学会コース ※午前: 1コース、終日: 2コース
 Aコース(9時～15時) ※要・個人名簿一覧提出、食事は自衛隊食堂利用
「熊本市内の戦跡をめぐる」歩兵第13連隊食堂(現熊本学園大学第2体育館)、三菱熊本航空機製作所第2組立工場(現西部方面総監部九州補給支処)、義烈空挺隊慰霊碑、陸上自衛隊戦史資料室
 Bコース(9時～15時) ※弁当手配
「菊池飛行場と黒石原奉安殿をめぐる」旧通信省熊本航空機乗員養成所奉安殿、菊池飛

- 行場ミュージアム、菊池飛行場給水塔・油倉庫・弾薬庫・格納庫
 Cコース (9時～15時) ※弁当手配
 「西南戦争の戦跡をめぐる」 熊本市立田原坂資料館、国史跡田原坂遺跡群 (熊本市北区植木町・玉東町)

9 諸準備

(1) 大会の視察、参加

- 第22回戦争遺跡保存全国シンポジウム愛知県豊川大会
 2018年(平成30年)8月18日(土)・19日(日)に開催予定
 豊川市指定、豊川海軍航空廠建物・遺構等の保存、新設資料館の見学、ガイド養成 等
 各団体等で可能な限り、大会参加により運営状況の掌握をお願いします。

(2) 運営分担等のイメージ

- 受付 (2日間での会場受付、当日参加対応):
 全体会: 長野きぼうの家事務局と現地事務局で分担対応
 記念講演: 現地事務局で人選・テーマ等を対応
 総会: 戦争遺跡保存全国ネットワークで対応
 各分科会運営 (司会は全国運営委員が担当、三分科会に会場責任者が必要):
 図書交換会 (売り上げ1割をマージンで運営へ補助):
 現地見学会 (全三コースに運営責任者が必要):
 会計 (全体の会計予算案作成):
 参加者名簿: 長野きぼうの家事務局と共同で作成
 渉外 事務局長: 高谷

(3) その他 (運営費、予算、運営ボランティア 他)

- 大会参加費で、全ての大会業務は運営します。
 事前の大会申し込み (発表・分科会参加・見学会参加 等)、参加費の振り込み
 大会開催では、各会からの「運営ボランティア」の参加が必要です。

10 実行委員会・組織・関係団体等

(1) 「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会」の立ち上げ

- 「戦争遺産フォーラムくまもと」の活動として
 → 第18回戦争遺産フォーラムくまもと事務局会で「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会」として、「了承」。
 実行委員長…堀 浩太郎 (熊本大学教育学部・大学院教育学研究科 教授)
 今後の協議事項等
 どの様な開催スタイルが良いのか、熊本独自のカラーは…
 西南戦争との接点、近代化遺産での軍事分野とは、熊本地震での戦争遺跡復興、新たな戦争遺跡の観光地化、戦争・戦争遺跡の商品化 他
 大会テーマ・キャッチフレーズは…
 高知大会は「今こそ戦争遺跡を平和のために」、豊川大会は「保存活用・次世代継承」
 大会の記念講演と講演者は…①案・②案で仮決定へ

(2) 実行委員会への参加組織 ～戦跡保存団体・個人・平和活動の関係団体への働きかけ～

- ①熊本の戦争遺跡研究会 ②人権NPO ちなもい
 ③花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会 ④荒尾二造市民の会
 ⑤人吉・球磨の戦争遺跡を伝えるネットワーク ⑥合志の近代化遺産を学ぶ会
 ⑦平和憲法を活かす熊本県民の会・熊本空襲を語り継ぐ会
 ⑧個人参加の方々 三隅康資さん・上村真理子さん 他
 ⑨新老人の会熊本支部、新老人の会「戦争を語り継ぐ会」
 ⑩熊本原爆被爆2世・3世の会 ⑪高校生平和大使の会熊本
 ⑫事業所「生活協同組合くまもと」平和委員会 ⑬労働組合「連合熊本」平和部会
 ⑭関係学術団体 (肥後考古学会、熊本史学会、熊本近代史研究会、熊本産業遺産研究会 他)
 ⑮くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク その他市民・県民の方々

(3) その他

- 「戦争遺産フォーラムくまもと事務局会」で、継続協議
 「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会」の当日運営に関わっていただく団体・個人の確認等



事務局連絡先
 第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会
 事務局長 高谷 和生 (たかたに かずお)
 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
 携帯 090-1513-528
 メールアドレス takayanagi912@yahoo.co.jp
 HP http://www.kumamoto-senseki.net/